

新たな子宮頸がんワクチン「シルガード9」が発売になりました。

◎はじめに

子宮頸がんの発症にはヒトパピローマウイルス(以下HPV)感染が関与していることが知られています。HPVは性交渉により感染しますが、感染してもその大部分は頸がんになることはなく経過し、性交渉のある女性のおよそ 60~80%の方が一生に一度は感染を経験すると言われていくごくありふれたウイルスです。

◎HPV の型と子宮頸がんワクチンの有効性について

HPV には 200 種類以上の「型(遺伝子型)」がありますが、そのうち子宮頸がんを起こすウイルス型は 16 型、18 型など 14 種類くらいあります。その他に外陰部を中心に行える良性のイボ、すなわち「尖圭コンジローマ」を起こすウイルス型として 6 型、11 型が知られています(これらは子宮頸がんを引き起こしません)。

子宮頸がんの約半数から HPV16 型が、約 20%から HPV18 型が検出されており、これらを合わせると、**HPV16、18 型で子宮頸がんの約 70%を占めています。**

現在接種がなされている**ガーダシル**は HPV16、18 型に対するワクチンで、**子宮頸がん全体のおよそ70%に有効性が期待されています。**先の尖圭コンジローマを引き起こす HPV6、11型を含めると4つの型の HPV に有効であることから、**4価ワクチン**と呼ばれています。

今回新たに発売された**シルガード9**は HPV16、18 型に加え、やはり子宮頸がんのハイリスク型である HPV31、33、45、52、58 型の5つの型を加えた7つの型に対するワクチンで(HPV31~58 型まで合わせて子宮頸がん全体の 20%を占める)、**子宮頸がん全体のおよそ 90%に有効性が期待されており、諸外国では既にシルガード 9 を中心に広く接種が行われています。**先の尖圭コンジローマを引き起こす HPV6、11 型を含めると 9 つの型の HPV に有効であることから**9価ワクチン**と呼ばれています。

◎シルガード9を接種される方への留意点

このたび、シルガード 9 を接種される方に、**あらかじめ患者さまの情報をご登録いただくことが義務づけられました。**接種に関する記録を保管して接種医と共有するために、シルガード9を接種する方全員に登録をいただくシステムで、全国どこで接種しても同様の登録が必要になります(具体的には来院時に登録をお願いしております)。

まずスマートフォン、タブレット端末などで URL または二次元コードから「シルガード9 全例登録システム：**ワクチンQダイアリー**」にアクセスして必要な情報(氏名・住所やメールアドレスなど)をご登録いただき、そこから予診票の記入、今後の接種スケジュールの入力や確認、通知などを行います。一方でワクチン接種を行う医師側の登録(氏名、医療施設名など)も義務づけられました。

◎シルガード9は 3 回の接種が必要です

シルガード9は 9 歳以上の女性に対して、初回接種、そこから 2 か月後および 6 か月後の合計 3 回、筋肉内に注射します。